

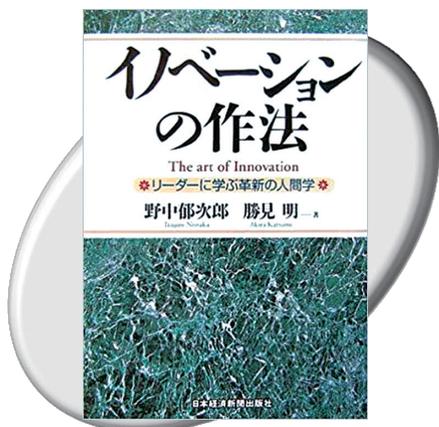


● 今月のご紹介者

株式会社 美濃製作所 代表取締役 大床 敦史 氏

『イノベーションの作法 リーダーに学ぶ革新の人間学』

著者 / 野中 郁次郎 勝見 明 出版社 / 日本経済新聞出版社



【概要】

清濁あわせのむ政治力、善いことをする気力、人々を共感させる場づくりの力、本質を見抜く直観力。革新を起こし事業を成功へと導くリーダーに共通してみられる能力や条件とは何か。リーダーの生き方から見た「成功の本質」とは？マツダ・ロードスター、サントリー・伊右衛門、新横浜ラーメン博物館などを例に挙げ、イノベーターに対する関心の世界的な高まりを示すエピソードを紹介する。

人を中心におき、物語をベースにししながら、具体的な文脈の中でイノベーター像を描く。

Q1 : この本を手にとられたきっかけについて

私は仕事の都合上、英会話を10年ほど習っております。その中で先生方と「日本と海外の違い」についてよく話題にします。しかし悔しいことに相手の方がよく知っている場合が多く、私も何か議論が深まるようなネタはないかと考えておりました。そんなときたまたま書店で、本書を手にとった事がきっかけです。

Q2 : この本をお勧めしたい理由について

本書には、社会に大きなインパクトを与えるイノベーションを産み出したリーダー達が登場します。興味深い事に、取り上げられている事例は高度経済成長期のそれではなく、経済が低迷していた2000年初頭が中心となっています。また、製造業のみならずラーメン博物館やリーグへの新規参入など多種多様な業界にわたります。

しかしありふれた「ハウツー」ものや「成功列伝」ではなく、イノベーションの背景を丁寧に取材し、リーダーの共通点、それらから導かれる独特な創造性についてまで掘り下げて述べられています。特に本書では開発の出発

点を重要視しています。欧米型のトップダウンではなく、コンセプトを皆で議論し哲学にまで高める必要があると主張しています。その中でリーダーはコンセプトを徹底させ、プロジェクトの精神的支柱になる事が求められています。このことがリーダーの心構えを「作法」として表現されていると感じました。ぜひ、ご一読いただけたらと思います。

Q3 : どういった方にお勧めしたいですか

これから社会の仲間入りをする新入社員の方々にお勧めしたいです。若い感性を生かし、今後もっとたくさんの情熱や哲学を感じられる商品やサービスが増えていけばいいと思います。また長い社会人人生をより実りあるものにするためのヒントになればと思います。

株式会社 美濃製作所

本社: 八尾市神武町 1-77

資本金: 5,000 万円

創業: 1950 年

事業内容: 紡績機械部品の製造・販売

ワインダー用ドラムの専業メーカー

